

金共斗粉碎！ 封鎖を解除し 自主解決へ

会連全 東大斗争現地報告会

フルに事態の東大のからの夜九日

東大において、ワ学部代表団と大学当局との団体交渉の
環境を築き、東大問題の自主解決への道を拓き出すこと
に上ロッキスト全支二派は、九日夜、各地から三千
人を引きあつめ、周知のように、暴力のめざりをつくし
て花を狂いました。

この日、彼らは、ヘルメット等に、キビキビと音が
な鉄パイプ、角材、竹やりを持ち、又銃実弾粉砕、日
サリ民衆救世などと呼んで、教育庁、経済庁を襲撃
し、百人余りの学生に重軽傷を負わせました。この襲
撃に出るにあたって、かみづの集会で、教育庁、
経済庁を封鎖すれば、機動隊が導入されるだろうと肩
を叩き、かみづの行動が機動隊を呼びよせる結果となる
だろうことを公言していたのです。この事実が、最悪
な結果にありつたのは、上ロッキスト暴力集団の
夜、行動の目的が、死傷者を出すほどの混乱を起し、
上ロッキスト局に機動隊を導入させ、入試中止、機動隊侵入、
上ロッキスト、文部省の東大管理をめぐり反り勢力のねらい
に二挙に実現することになったことを明日に記します。

この上ロッキストの夜行に動し、教育庁や経済庁
の本館にあつまった統一代表団を支援し、自主解決を
めざす学生たちは、完全武装した上ロッキスト暴力集団の
脅威のような脅行をうけたが、一歩もひるまず毅然
と正当防衛権を行使し、かみづの襲撃をはね返しました。

翌十日には、七学部集会のもと、ワ学部代表団と大学側との団体
交渉の確約書をつくりあげ、大きな成果をあげました。つまり十
日には、各学部でつづつと学生大会が開かれ、確約書にたいす
る学生態度をきめるとともに、全支二派の糾弾、封鎖解除、ス
ト解除をきめました。とくに駒場の教養学部では代議員大会を開か
れ、いよいよ上ロッキスト暴力集団の十日から十一日にわたるき
ちがいじめと襲撃、強行をはね返して成功させました。

一方、こうした動きに呼応して上ロッキスト暴力集団を糾弾し、自
分たちの教室は自分たちの手で封鎖を解除しようとの声があつて、
に高まり、学生、院生、教職員が湧起して十日夜から十一日にか
つ、法文二十五番教室、総合図書館など十三ヶ所の建物、教室の
封鎖を解除しました。

〈全学連支持会議〉